

A decorative graphic featuring a vertical grey line on the left, a horizontal grey line at the bottom, and a vertical blue bar on the right. A series of five blue circles of increasing size are arranged in an upward diagonal path from the bottom left towards the top right. The largest circle at the bottom right contains the text '第5章'.

# 第5章

## 計画の推進に向けて

# 1

## 実施体制

地球温暖化対策は、区民の生活や事業活動に密接にかかわるものであるため、計画を推進していくためには、区民・事業者・区の各主体が連携・協力しながら各種対策に取り組むことが必要です。

区では、温室効果ガス削減に向けた普及啓発を今後も充実させるとともに、商店街や小売店等を通じた情報提供や、温室効果ガス削減効果の高い技術等の導入支援策の整備などを実施し、区民、事業者、区が強いパートナーシップのもとに計画を推進する体制づくりに努めます。

また、自らの事業活動において、広く部局横断的な連携を図り、自主的かつ積極的に地球温暖化対策に取り組み、国や都、都内の地域協議会や民間団体、NPO などとも連携・協力して地球温暖化対策を推進する体制づくりに努めます。

# 2

## 評価点検のしくみ

本計画では、平成 27（2015）年度における温室効果ガス排出量の削減目標として、基準年度比 8% 削減を掲げています。この目標を達成するために、区域からの温室効果ガス排出量を毎年把握するとともに、本計画に盛り込まれた施策等の進捗状況を確認して、計画の進行管理を行います。

計画の進行管理にあたっては、温室効果ガス排出量の算定に用いる電力使用量等の直接的な活動指標のほか、地球温暖化関連制度等への区民・事業者の参加状況や温室効果ガス削減効果の高い技術等の導入状況など、数値によって客観的に評価する主体別の指標を定期的に把握することにより、区内の削減対策等への取り組み状況を評価点検するしくみを構築します。

進捗状況の定期的な把握により、計画の適切なフォローアップを行うとともに、地球温暖化に関する国内外の動向や技術革新等の状況を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行います。

● 図 5-1 PDCA サイクルによる事業評価プロセス

